



学校だより 加戸の丘 R7

教育目標「よく学び よく働き よく遊ぶ」

坂井市立加戸小学校

第6号

令和7年10月6日

令和7年度全国学力・学習状況調査 本校結果分析（概要）

4月17日(木)に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査につきまして、既に報道で全国の傾向、福井県の状況等が公表されています。本校の結果分析がまとまりましたのでご報告いたします。この学校だよりでは、成果が見られたことと今後重点的に取り組むべき課題に触れております。

分析結果をもとに、良好なところは更に伸びるように、課題が見られるところは改善できるように、今後も「楽しく分かる授業」を目指して授業の方法や形態などを工夫しながら取り組んでいきたいと考えております。

教科に関する調査

今年度は、国語・算数に加え理科の調査がありました。本校の平均正答率(%)は、国語・理科は、県・全国平均を上回りましたが、算数は、県・全国平均を下回っています。教科、問題ごとに分析すると、以下のようなことが分かりました。

【国語】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○言葉の特徴や使い方に関する事項、言語文化に関する事項について良好な結果でした。

○「話すこと・聞くこと」について良好な結果でした。

漢字を文の中で正しく使うこと、時間経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができます。また、自分の意図に応じて話の内容を捉えること、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることができます。

△「読むこと」「書くこと」について

事実と感想、意見などの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること・目的や意図に応じて、図表なども用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

【算数】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○「数と計算」「データの活用」について良好な結果でした。

小数の加法について共通する単位を捉えること、異分母の分数の加法の計算をすることができています。グラフから関係を読み取ることができています。資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができています。

△「測定」「変化と関係」について、「記述式」で答える問題について

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題解決に必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること・分数を単位分数の幾つ分として捉えること、分数の加法について共通する単位分数を用いて数や言葉を用いて記述することに課題があります。



PTA資源回収へのご協力ありがとうございました

9月28日(日)のPTA資源回収では、各地区の回収、集積所への運び込み、集積所での仕分け作業と、早朝よりご協力いただきまして、ありがとうございました。



【理科】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○「『粒子』を柱とする領域」「『地球』を柱とする領域」について良好な結果でした。

実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶことができています。水の状態変化・水のしみ込み方に関する内容について、知識と関連付けて概念的に理解し、表現することができています。

△「『エネルギー』を柱とする領域」について、「記述式」で答える問題について

電気を通す物、磁石に引き付けられる物についての知識・電気回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現すること・実験の結果から、新たな問題を見だし、表現すること・問題に対するまとめの際に、観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することに課題があります。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○朝食を毎日食べている、起床時刻がほぼ決まっているといった基本的な生活習慣が身に付いています。

○健康に過ごすために教えられたことを普段の生活に役立てている児童が多いです。

○人が困っているときは進んで助けています。

○学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいます。

○「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と答える児童が県・全国平均と比べて多いです。

△「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」に「当てはまる」と答える児童が、県・全国平均と比べて少ないです。

△読書が好きと答える児童が少なく、普段（月曜日から金曜日）、読書を全くしないと答える児童が県・全国平均と比べて 多いです。



🖋️ よりよい学びのために

- ・国語の「読むこと」の授業において、内容を捉えるための発問・展開の工夫にさらに取り組みます。
- ・調べ学習やまとめの時間を活用し、文章や資料を見比べたり、文章から変化を読み取ったりする機会を増やしていきます。読書活動の充実を図ります。
- ・文章を書く活動では、相手を意識した文章を書いたり、書いた文章を読み合ったりする機会を増やし、より伝わりやすくするための表現や資料の使い方など、様々な形態の活動を取り入れていきます。
- ・算数において、問題の場面の把握、数量を正しく捉えるために、言葉や図・グラフ、式を関連付ける作業や、自分の考えを数学的な言葉や図などを用いて表現する活動を増やしていきます。
- ・理科において、問題解決の過程で、根拠のある予想や仮説を発想するために、自分の考えを表現する活動を増やしていきます。
- ・児童の実態に即した授業展開、学習した内容を日常生活の場面に落とし込んで考える課題設定など、児童の主体的な学びに向けた工夫に取り組みます。
- ・ポジティブ教育の充実を図り、仲間との絆づくり、自分の強みを知る活動などを通して、自己肯定感・自己有用感を育成します。

2学期の
学校行事
より

